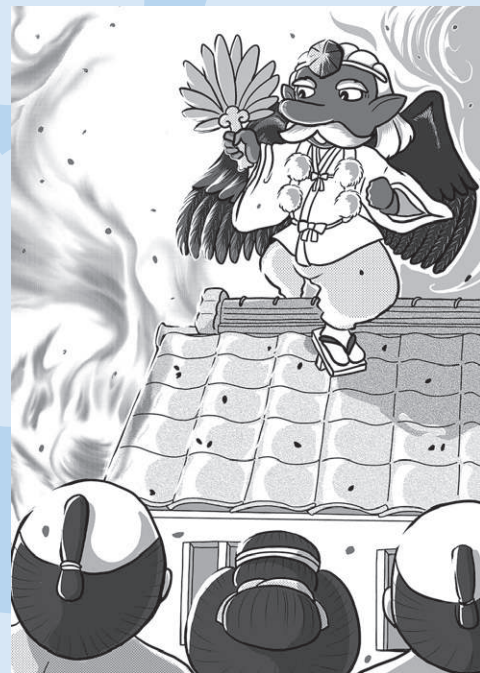


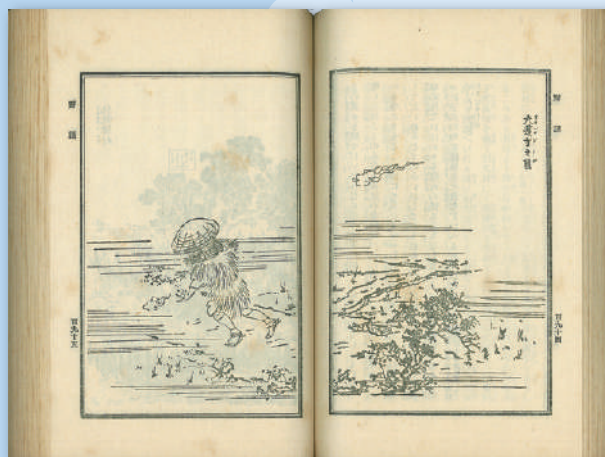
古より語り継がれてきた埼玉の妖怪を一挙紹介！

企画展「埼玉妖怪見聞録」では、江戸時代の文献や語り継がれてきた伝説を元に、埼玉県内で見聞されたさまざまな妖怪を紹介します。また、妖怪を題材にしたゆかりの文学者の作品や、直木賞作家・安藤鶴夫が収集した妖怪を象った郷土玩具なども併せて展示します。



「火伏の天狗」(イラスト:石倉慶子)

県内各地に伝わる妖怪の伝説から12話を選び、イラストと共に紹介します。



『武蔵野話』に載る「大蓮寺火」の図

「大蓮寺火」は、川越に現れた怪火。このほかにも江戸時代の文献には、埼玉の妖怪についての記述があります。



直木賞作家・安藤鶴夫が収集した妖怪の郷土玩具

安藤鶴夫は、郷土玩具の収集が趣味の一つでした。当館蔵の「安藤鶴夫コレクション」にも数多くの郷土玩具が含まれており、その中から妖怪に関するものを展示します。

河童確に住むと信じる川溜々

幸手出身の俳人・中野三允の俳句「河童確に住むと信じる川溜々」

関連
事業

① 記念講演会「もうひとつの『山怪』!? 秩父で集めた妖怪譚」

5月14日(土) 14:00～15:30 講師:石倉慶子氏(作家・春日都市郷土資料館)

② 朗読会「朗読で聞く埼玉の妖怪伝説」

6月4日(土) 14:00～15:30 朗読:松本絵美氏(元当館司書・日本朗読検定協会認定講師)

※いずれも会場は当館1階 文学ホール(定員100名)

申込みは電話 048-789-1515 まで(先着順)

参加費無料



JR 高崎線桶川駅
西口から徒歩5分

